

健康はこだて21次期計画の骨格素案

資料5

目次		〈考え方〉
第1章 基本的事項		
1 計画策定の背景 2 計画の目的 3 計画の位置付け 4 計画の期間	生活習慣病の死亡減少と健康寿命の延伸 平成25～34年度	
5 計画の基本方針 (現計画)・一次予防の重視 ・個人の健康づくりを支援するための環境の整備 ・目標の設定と評価 ・多様な実施主体による連携のとれた効果的な計画の推進 ・年代別の健康づくり(各年代ごとの健康指標と目標値)	国の基本的な方向を踏まえて見直す 【国の基本的な方向】 ①健康寿命の延伸と健康格差の縮小 ②生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(がん、循環器疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患) ③こころの健康・次世代の健康・高齢者の健康 ④健康を支えるための社会環境の整備 ⑤栄養、運動、休養などに関する生活習慣および社会環境の整備	見直し案 (計画の目的を達成するための基本的方向として) ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・健康を支えるための社会環境の整備 ・多様な実施主体による連携のとれた効果的な計画の推進 ・年代別の健康づくり(各年代ごとの健康指標と目標値)
第2章 函館市民の健康と生活習慣の現状		
	現計画最終評価、市民アンケート結果、統計指標等から函館市の特徴的な課題について記述	
第3章 健康づくりの目標と取組		
(現計画) 1 重点取組 ・早寝、早起き、朝ごはん ・運動の推進 ・禁煙 2 年代ごとの目標と取組 ・0～14歳 } めざす姿・健康目標 ・15～39歳 } 市民の取組 ・40～64歳 } 市の取組 ・65歳以上 } 関係団体等の取組	重点取組の選定 年代ごとの健康指標と目標値の設定 各実施主体(市民、市、関係団体)の取組	
第4章 健康づくりの推進		
1 推進体制 2 進行管理 3 評価	多様な実施主体による推進体制 計画の進捗管理 設定した目標値の評価	

生活習慣に関する目標設定例

	次世代	働く世代	高齢期
目指す姿			
栄養・食生活	- 朝食を欠食する子どもの減少 - おやつとの与え方を気をつける親の増加	- 朝食を欠食する人の減少 - 女性のやせの減少	低栄養傾向の高齢者の減少
身体活動・運動	運動習慣を持つ子どもの増加	- 運動習慣のある人の増加 - 男性の肥満の減少	60歳代女性の肥満の割合の減少
休養	就寝時間の遅い子どもの減少	睡眠が充分とれている人の増加	社会参加する高齢者の増加
喫煙・飲酒	未成年者の喫煙、飲酒をなくす	- 喫煙率の減少 - 多量飲酒をする人の減少	- 喫煙率の減少 - 多量飲酒をする人の減少
	受動喫煙の防止		
歯・口腔	むし歯のある子どもの減少	- 定期的に歯科検診を受ける人の増加 - 歯間清掃用具を使用する人の増加	
生活習慣病の 発症予防と 重症化予防	肥満の子どもの減少	- 特定健診、特定保健指導の実施率の増加 - メタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少 - 胃がん、大腸がん、肺がん検診の受診率の増加 - 高血圧の改善、脂質異常症の減少 - 血糖コントロール不良者の減少	